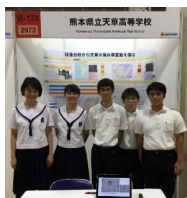




第3回のSSH通信となります。今回は「SSH生徒研究発表会」と「天高総合大学」の取組を中心にお知らせします。

SSH 生徒研究発表会

8月9日(水)10日(木)に神戸国際展示場で開催された『SSH 生徒研究発表会』に科学部5名が参加・発表を行いました。この研究発表会は、**全国のSSH校と海外招** **聘校**が集い実施されます。8日は移動及び準備日。9日は基調講演とポスターセッション。10日は前日の審査で選ばれた6校のプレゼンテーションといった流れで、熱戦が繰り広げられます。本校の研究内容は「**珪藻(ケイソウ)分析から天草の海水準変動を探る**」でした。文部科学省の方や他校の先生方からも好評でした。



天高総合大学

8月25日(金)の午後から様々な大学の出張講義が集まる「天高総合大学」を実施しました。1・2年生を対象に13講座を開講し、各教室で高校の枠を超えた講義をいただきました。

地域文化研究と文学研究(熊本県立大学文学部 鈴木元 教授)

文学研究の楽しさや奥深さを中心に御講義いただきました。実際に県立大学で保管されている江戸時代の書物や巻物を見ることで、生徒たちも刺激を受けていました。古典文学よりも、現代文学を細解くときのほうが莫大な読書量と時間がかるそうです。



出川 English はヤバイ!(熊本学園大学外国語学部 米岡ジュリ 教授)

All English の講義でした。『出川イングリッシュ』を題材に、外国の方々とコミュニケーションをとる際に必要な力を教えていただきました。語彙や文法も大事ですが、アイコンタクトやジェスチャー、自分の知っている言葉を少し変化させて「相手に伝える一生懸命さ」が良い関係を築く上でのポイントです。もちろん、より正確に伝えるために今後も語彙を増やし、文法を学んでいきましょう。



赤ちゃんの心や感情を科学する(九州ルーテル学院大学人文学部 久崎孝浩 准教授)

心理学の講義です。1歳半になると人の動きから感情を読み取ることができるようになります。例えば、大人が物を落とした際に困った表情をすると、赤ちゃんがその表情を見て落とした物を取ってきます。チンパンジーも物を探ることはできますが、人の顔は全く見ません。人間の行動心理に関する講義でした。



ビジネスと法律~株式会社の法律を知ろう~(下関市立大学経済学部 久保佳納子 講師)

法律には必ず「社会的目的」と「ルール」があります。信号機を題材に、必要なルールが必要な個所に出来ていることを説明いただきました。また、株式会社の仕組みを教えてください、株主と会社の互いの利益を得るルールのもと成り立っていることがわかりました。日常生活も法で守られていることを改めて学びました。



賃金の経済学(熊本学園大学経済学部 米田耕士 特任助教)

その職業の専門性が高ければ高いほど、賃金は高くなります(ちなみに第1位はパイロットでした)。地域間や職場間における賃金の差は、ある条件下では、全くなくなってしまう性質があります。「賃金の差はどのようにして生まれるのか」について丁寧に講義していただきました。



スポーツと脳のはなし(熊本大学教育学部 坂本将基 准教授)

教育学の講義です。脳の働きを詳しく知ることができます。色の残効といって、人間の脳は赤を見続けると緑を見たくなり、青を見続けると黄色を見たくなるそうです。実際に赤と青を見続けた後に白紙を見ると、白紙に色が見えます。とても不思議な時間でした。



超高齢社会に求められる看護職の役割(九州看護福祉大学看護学部 生野繁子 教授)

看護職は「看護師」「訪問看護師」「助産師」「保健師」などに分けることができ、それぞれの役割があります。超高齢社会の中では『在宅』がポイントだそうです。天草市はすでに超高齢化を迎えており、在宅医療の提供も他の地域に比べて進んでいます。日本の10年先を進んでいると捉えることも出来ます。



応用微生物学とは(熊本県立大学環境共生学部 松崎弘美 教授)

特定保健用食品(トクホ)は日本発祥で、現在1123品目あります。しかし、取得するハードルが高いため大企業しか取得できない現状があります。それに代わり機能性表示食品は農家やスーパーでも表示可能となり、食の安全性を消費者に直接説明できるようになっています。乳酸菌は強いという話も興味ある内容でした。



機械工学とロボット(崇城大学工学部 森昭寿 准教授)

機械の定義から最先端の機械の利用法について、ていねいに講義をしていただきました。実際に大学生が制作したロボットを動かしたり、生徒がロボットに触れたりすることができました。これから、より進化していくロボットの世界。生徒も興味を深める良い機会になりました。



防災・減災と化学・工学(九州大学芸術工学部 尾方義人 准教授)

防災についての基礎知識と熊本地震を例に挙げ、防災対策の課題について、大変わかりやすい講義をしていただきました。また、防災に関するゲームもあり、いつどのように避難し、被災地でどのように生活をしていくべきか学ぶことができました。地形や建物構造による知識だけでも防災対策の一つになるそうです。



超伝導でみえる量子の世界(熊本大学理学部 市川聡夫 教授)

物体は、極限状況では普段とは違うふるまいをすることが知られています。今回は、低温物理学を研究されている市川先生より、物体を極低温にしたときに起きる、超電導という現象について講義がありました。実験室での実験映像では、不思議な現象を見た生徒たちから驚きの声が聞こえました。



絶滅したマンモス復活の可能性(鹿児島大学農学部 大久津昌治 准教授)

最新の繁殖技術があれば、マンモス復活も夢ではありません。家畜はもちろん、希少生物の絶滅も防げます。永久凍土によって冷凍保存された遺伝子からマンモス復活を目指しています。夢と反、チャレンジすることを大切にしてほしいと思います。



マグロ養殖はトロ消費を支える救世主!?(長崎大学水産学部 山本尚俊 准教授)

資源問題は太平洋で深刻化している。マグロは5歳で成熟したといえるのですが、漁獲されるマグロのほとんどは0歳魚というのが現状で、成熟する前に捕獲されています。養殖技術もあがっていますが、えさの問題や遺伝子のコントロールなど問題もあります。更なる科学技術の進化が求められています。

